2026年11月11日

各　位

会社名　株式会社タクマ
代表者名　代表取締役社長　濵田　州朗
（コード番号６０１３　東証プライム市場）
問合せ先　経営企画本部 広報・ＩＲ部長　小林　寛幸
電話番号　０６－６４８３－２６０２

# 2027年３月期業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年５月14日に公表いたしました2027年３月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

また、2026年11月11日開催の取締役会において、2026年９月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）について下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

## ● 業績予想の修正について

１．2027年３月期通期の業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

連結業績予想数値の修正

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 191,000 | 17,800 | 18,500 | 15,400 | 215.00 |
| 今回修正予想（B） | 196,000 | 20,300 | 21,000 | 17,100 | 237.00 |
| 増減額（B－A） | 5,000 | 2,500 | 2,500 | 1,700 | |
| 増減率（%） | 2.6 | 14.0 | 13.5 | 11.0 | |
| （ご参考）前年通期実績（2026年３月期） | 165,620 | 15,409 | 16,279 | 13,732 | 185.04 |

２．修正の理由

当社グループの業績につきましては、環境・エネルギー(国内)事業においてメンテナンスなどのストック型ビジネスが順調に伸びているほか、受注済みプラントの建設工事が順調に進捗していることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回予想を上回る見通しです。

● 剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正について

１．剰余金の配当(中間配当)

| | 決　　定　　額 | 直近の配当予想<br>(2026年5月14日公表) | 前期実績<br>(2026年３月期) |
|---|---|---|---|
| 基　準　日 | 2026年９月30日 | 同左 | 2025年９月30日 |
| １株当たり配当金 | 59円00銭 | 54円00銭 | 39円00銭 |
| 配当金総額 | 4,239百万円(注) | ― | 2,898百万円 |
| 効力発生日 | 2026年12月４日 | ― | 2025年12月５日 |
| 配 当 原 資 | 利益剰余金 | ― | 利益剰余金 |

（注）配当金総額には、株式給付信託（J-ESOP-RS）が保有する当社株式に対する配当金を含んでおります。

２．期末配当予想の修正

| | 年間配当金 | | |
|---|---|---|---|
| | 第２四半期末 | 期　末 | 合　計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回予想 | 54.00 | 54.00 | 108.00 |
| 今回修正予想 | ― | 60.00 | 119.00 |
| 当期実績 | 59.00 | | |
| 前期実績<br>(2026年３月期) | 39.00 | 54.00 | 93.00 |

３.修正の理由

当社は、激化する市場での競争力を確保するため、企業体質の強化を図りながら、安定した配当を維持することを基本に、業績等を総合的に勘案し、利益還元を行う方針であります。第14次中期経営計画では、配当性向 50%またはＤＯＥ（自己資本配当率）4.0%の両基準で算出した金額のいずれか高い方を目標として設定しております。

2027年３月期通期の業績予想の修正を踏まえ、2027年３月期の中間配当金につきましては、前回予想の54円から５円増額し、１株当たり59円とさせていただきました。また、期末配当予想につきましては、前回予想の54円から６円増額し、１株当たり60円とさせていただく予定です。これにより、2027年３月期の年間配当金は１株当たり119円（うち中間配当金59円）となる予定です。

なお、期末配当につきましては、2027年６月に開催を予定している第123期定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施されることとなります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績・配当額は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上